

癌性疼痛におけるオピオイド鎮痛薬（経口）	
第一選択薬	オキシコドン徐放錠 5mg、10mg、20mg
第二選択薬	ヒドロモルフォン錠 2mg、6mg（先発品）

※経口摂取困難時にフェンタニルクエン酸塩 1 日用テープを考慮

HMG-CoA 還元酵素阻害薬	
第一選択薬	ロスバスタチン 2.5mg
	アトルバスタチン 10mg

※CYP3A4、P 糖蛋白質の代謝に關与する薬劑を併用する場合、ロスバスタチンを考慮

アンジオテンシン変換酵素阻害薬（ACE 阻害薬）、 アンジオテンシン受容体拮抗薬(ARB)、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）	
第一選択薬	エナラプリル 5mg
	カンデサルタン 4mg
	テルミサルタン 40mg
第二選択薬	アジルサルタン 20mg(先発品)
循環器内科限定	サクビトリルバルサルタン 100mg(先発品)

※第一選択薬で降圧効果不十分な場合にアジルサルタンを推奨

サクビトリルバルサルタンは、高血圧に対する有用性が不明のため、原則循環器内科医の指示のもと使用

第 2 世代抗ヒスタミン薬	
第一選択薬	エピナスチン 20mg（1 日 1 回製剤）
	オロパタジン OD 錠 5mg（1 日 2 回製剤）
第二選択薬	フェキソフェナジン OD 錠 60mg

※眠気のリスク軽減目的の際にフェキソフェナジンを推奨

顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)	
第一選択薬	フィルグラスチム BS 注 75μg

※別途、予防としてペグフィルグラスチム(先発品)の採用あり

ヒスタミン H2 受容体拮抗薬(H2 ブロッカー) 注射薬 & 内服薬	
第一選択薬	ファモチジン注 20mg、OD 錠 10mg、OD 錠 20mg

プロトンポンプ阻害薬(PPI) 注射薬	
第一選択薬	オメプラゾール注 20mg
第二選択薬	ランソプラゾール注 30mg(先発品)

※クロピドグレル内服時にランソプラゾールを推奨

プロトンポンプ阻害薬(PPI) 内服薬	
第一選択薬	ラベプラゾール 10mg
	ランソプラゾール 15mg
第二選択薬	ボノプラザン 10mg (先発品)

※外来でのピロリ除菌はボノプラザンを含むレジメンを推奨